

第2回 NON はに丸 (メーカー不詳) の巻



2回目にしていきなり・・・なキットの登場です。このキットは大学生時代にスタッフ参加した第26回日本SF大会 (URACON'87) で、夜中に旅館の畳の部屋で談笑 (記憶おぼろげ) している際に見知らぬ方に譲ってもらったものです (その方が今で云うところの個人デラーだったのかコレクションを譲ってもらったのかは忘れてしまいました...)

キット (と呼んで良いのか?) は全高約 6cm のデフォルメモデル一発抜きで、湯口は足の裏にあります。材質は当時アマチュアが入手可能だったニッソリのプラキャストか平泉洋行のハイキャストのどちらかだと思います。真空脱泡器など皆無の時代であり、そこかしこに気泡 (というか樹脂の回っていない箇所) があります。右の拳などは殆ど有りません (泣)。当時の個人生産キットはこれが普通でした。購入価格は「ハニマル」(820) と西落もなかなか利いていました。



キットデータ

メーカー	不詳
スケール	NON
材質	レジンキャスト

大事なことを忘れていました。はに丸というのは日本放送協会制作の教育番組「おーい! はに丸」に登場する、武人埴輪 (この辺り?) がモチーフと思われるキャラクターです (左の画像をクリックすると日本放送協会の作品介绍ページが開きます)。当時最先端のブルーバック合成技術をふんだんに使用した映像は特撮マニア注目の的であり、スポット番組でそのメイキングが紹介された程でした (ビデオに撮り損ねたのが悔やまれる)。番組は一話完結の形式で、普段は絵に描いた埴輪の家の中にいるはに丸王子と供のひんべえ (馬型埴輪) が出てきては日本語のちょっとややこしい使い方に接し、「はにゃあ」と首をかしげながら正しい言葉遣いを覚えていくという素晴らしい番組でした (残念ながら放送は終了)。「できるかな」のノッポさんとは別の意味で忘れられないキャラクターです。

当時価格

820円 (税抜)